

整理番号

千葉県地域漁船漁業改革推進集中プロジェクト
銚子地域沖合底びき網漁業 改革計画書

| | | | |
|-------------------|---|--------------------|---------------|
| 地域プロジェクト名称 | 千葉県地域漁船漁業改革推進集中プロジェクト (銚子地域沖合底びき網漁業部会) | | |
| 地域プロジェクト 運 営 者 | 名 称 | 財団法人 千葉県水産振興公社 | |
| | 代表者名 | 理事長 高橋 和 嗣 | |
| | 住 所 | 千葉県千葉市中央区中央4-13-28 | |
| 計 画 策 定 年 月 | 年 月 | 計 画 期 間 | 平成19年度～平成24年度 |

1 目的

銚子地域の沖合底びき網漁業は、長期的な水揚げの不振により、経営体数が減少してきたが、近年、その水揚げは安定してきている。

また、使用する漁船は老朽化が進んでいるが、現在の個別経営では代船建造が難しい状況である。

当該漁業の継続のためには、漁業経営の合理化と代船建造が課題となっている。

そこで、漁業生産組合を組織し協業化による経営の合理化を図るとともに、漁船を小型化して代船を建造し、省エネ・省コスト型の漁業に転換させる。

併せて、漁獲物の流通・販売対策を通じて魚価の向上等に取り組み、収益性の高い漁業に構造改革する。

2 地域の概要

銚子は古来、零細漁業と農耕を生業とする一漁村として成立してきたが、江戸時代、紀州方面の人々が往来するようになってから開発が進んだと言われている。

銚子漁港の魚市場は昭和7年に完成以来、千葉県内の漁船はもとより、北は北海道から南は九州に至る沖合漁船の一大根拠地として飛躍的な発展をとげてきた。

銚子沖合は寒暖両流が交錯する好漁場であるため、浮魚、底魚等が豊富で魚種も多様である。

平成18年の水揚げは、マサバ、マイワシ、サンマなどの浮魚を中心に数量で261,461トン、金額で252億円を記録した。これは、数量で全国第1位、金額で全国第6位の地位にある。

このうち、銚子地域の沖合底びき網漁船による水揚げは5隻で1,192トン、582,823千円であり、数量では全体の0.4%、金額では全体の2.3%であるが、まき網、まぐろ延縄等を除いた沿岸の小魚類でみると44億円の約13%を占めている。また、魚種も多様で単価も比較的安いため、これらを扱う地元の小売店にとっては貴重な存在となっている。

銚子地域の沖合底びき網漁業は、30トンクラスの掛け回し漁法からスタートし、昭和40年代に入って50トンクラスの船尾トロール方式への転換が図られた。その後、さらなる大型化が進められたが、資源の減少と過当競争、それに伴う経営の悪化から経営体数の減少が続き、昭和38年に40隻あった漁船が現在では実動隻数5隻にまで減少している。

3 計画内容

(1) 参加者名簿

① 地域協議会

漁業関係者

千葉県漁業協同組合連合会 専務理事 勝山 満

流通・加工

千葉県水産加工業協同組合連合会 専務理事 山口 利夫

金融・経営等関係者

千葉県信用漁業協同組合連合会 常務理事 江川 澄

千葉県漁業信用基金協会 理事長 佐藤 隆義

財団法人 千葉県水産振興公社 理事長 高橋 和嗣

地方公共団体

千葉県農林水産部水産局水産課 課長 平山 明

学識経験者

(株) 漁協経営センター 代表 山本 辰義

東京海洋大学 客員教授 崎浦 利之

② 銚子地域沖合底びき網漁業部会

漁業関係者

千葉県機船底曳網漁業協同組合 代表理事組合長 坂本 雅信

銚子沖合漁業生産組合 理事 網中 清勝

銚子市漁業協同組合 参事 川崎 梧朗

銚子市漁業協同組合 会計主任 加瀬 博

流通・加工

千葉県漁業協同組合連合会

銚子冷凍冷蔵工場 場長 土屋 克夫

株式会社クボジン 代表取締役 窪谷 富雄

金融・経営等関係者

農林漁業金融公庫関東支店 主任調査役 関口 雅之

千葉県信用漁業協同組合連合会銚子総括支所

部長代理 土東 道久

千葉県漁業協同組合連合会 参事 高梨 義宏

地方公共団体

千葉県銚子水産事務所 所長 鈴木 和良

銚子市水産課 課長 山崎 晴敬

学識経験者

千葉海区漁業調整委員会 会長代理 田谷 忠雄

(2) 改革のコンセプト

<生産に関する事項>

- ① 協業化（生産組合の設立）
- ② 小型漁船への転換（代船建造）

<流通・販売に関する事項>

- ① 漁獲物の高付加価値化
 - ・ 高鮮度出荷（ヤリイカの船上箱詰め）等の取り組み
 - ・ 活魚出荷試験（ヒラメ）の取り組み
- ② 漁港における品質管理
 - ・ 入札業務の迅速化（電子商取引及び計量のデジタル化の推進）
 - ・ 市場衛生管理の高度化
- ③ 新たな流通経路の開発
 - ・ 地元消費者への販売強化（漁協直売所）
 - ・ 外食産業等への直販
- ④ 「銚子の底魚」に関するPRの強化
 - ・ 地元消費需要の増大を図るPR活動の実施

(3) 改革の取組内容

| 大事項 | 中事項 | 現状と課題 | 取組記号・取組内容 | 見込まれる効果(数値) | 効果の根拠 |
|----------|------------------|---|--|--|---|
| 生産に関する事項 | 1 漁業生産の合理化に関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・近年、水揚げは安定しているが、燃油等諸資材が高騰しており、漁業経営は依然厳しい状況にある。 ・使用している漁船は老朽化が著しいが、代船建造が難しい状況にある。 ・銚子沖合の底魚資源を活用する当該漁業を存続していくためには、漁業経営の合理化と代船建造が課題となっている。 | <p>1-1 漁業生産組合を設立し協業化することにより経費節減を図る。(陸上)</p> <p>1-2 漁船を70トン型から19トン型に小型化し、資源に見合った漁業規模に転換を図る。(洋上)</p> | <p>協業化による経費節減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費 4,576千円 <p>漁船の小型化に伴う効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 5,448千円 <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水揚げの減少 232トン⇒170トン 102百万円⇒75百万円 △27,000千円 <p>経費の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 20トン未満船となるため、船舶検査や機関長の設置義務が無くなることなどによる節減 ・船舶検査費 10,919千円 ・人件費 10,347千円 ・燃油代 10,296千円 ・漁具費 886千円 <p>計 32,448千円</p> <p>経費節減－水揚げの減少 ＝32,448－27,000 ＝5,448千円</p> | <p>別紙資料 1-1</p> <p>別紙資料 1-2</p> |

| 大事項 | 中事項 | 現状と課題 | 取組記号・取組内容 | 見込まれる効果(数値) | 効果の根拠 |
|-------------|-------------------------------|---|--|--------------------------|----------------------------|
| 流通・販売に関する事項 | 2 漁獲物の高付加価値化に関する事項 (洋上・陸上) | ・漁獲物は、魚種別に選別後、海水に角水を入れた樽で鮮度保持し、全て鮮魚として水揚げしている。 | 2-1 ヤリイカについて、船上箱詰めによる高鮮度出荷や加工に取り組む (洋上・陸上) | 高鮮度出荷の取り組みによる見込み利益 329千円 | 別紙資料 2-1-① |
| | | | 2-2 ヒラメについて活魚出荷試験に取り組む (洋上・陸上) | 加工品開発の取り組みによる見込み利益 81千円 | 別紙資料 2-1-② |
| | 3 漁港における品質管理に関する事項 (陸上) | ・水氷の状態で水揚げされた漁獲物は、規格選別・計量後に入札するため、漁港に留まっている時間が長い。 | 3-1 入札業務の迅速化を図る。 (陸上) 3-2 衛生管理方法を総合的に検討する。 (陸上) | 活魚出荷の取り組みによる見込み利益 614千円 | 別紙資料 2-2 |
| | | | | | 別紙資料 3-1 別紙資料 3-2 |

| 大事項 | 中事項 | 現状と課題 | 取組記号・取組内容 | 見込まれる効果(数値) | 効果の根拠 |
|-----|-----------------------------------|---|--|------------------------------|---|
| | <p>4 新たな流通経路の開発に関する事項 (陸上)</p> | <p>・入札後、消費地市場や地元の小売店等に搬送される。(陸上)</p> | <p>4-1 漁協直売所に、「銚子の底魚」コーナーを常設し、地元消費者への普及販売を強化する。(陸上)</p> | | <p>別紙資料 4-1</p> |
| | <p>5 「銚子の底魚」のPRの強化に関する事項 (陸上)</p> | <p>・「銚子の底魚」のPRはあまり行なわれていない。 ・PR活動を通じた消費拡大や魚価の向上が課題となっている。</p> | <p>4-2 居酒屋チェーンなどへの直販や宅配業者と連携した直販を試行する。(陸上)</p> <p>5-1 地元消費需要を増大し、魚価の向上を図るため、県、市、市観光協会及び市商工会議所と連携し、「銚子の底魚」のPR活動に取り組む。(陸上)</p> | <p>直販の取り組みによる見込み利益 140千円</p> | <p>別紙資料 4-2</p> <p>別紙資料 5-1</p> |

(4) 改革の取組内容と支援措置の活用との関係

① 漁船漁業構造改革総合対策事業の活用

| 取組 記号 | 事業名 | 改革の取組内容との関係 | 事業実施者 | 実施年度 |
|----------|---------------------------------|--|-----------|---------------|
| 1-2 | 漁船漁業構造改革推進事業 (漁船漁業再生事業) | 70トン型沖合底びき網漁船を19トン型に減トンし、規模のスリム化により経営の改善を図る。当面1隻を小型化し、漁船の更新を実施する。 | 銚子市漁業協同組合 | 平成19年度(20年3月) |
| 1-2 | 漁船漁業構造改革推進事業 (もうかえる漁業創設支援事業) | 建造された新船について収益性の実証事業を実施する。 船名 未定丸 所有者 銚子沖合漁業生産組合 総トン数 19トン | 銚子市漁業協同組合 | 平成20年度～平成22年度 |

② その他関連する支援措置

| 取組 記号 | 支援措置・制度資金名 | 改革の取組内容との関係 | 事業実施者 (借受者) | 実施年度 |
|----------|---------------------------------------|--|-------------------------|---------|
| 1-2 | 農林漁業金融公庫資金 (漁業経営改善支援資金) | 銚子市漁協が取り組むものか 漁業創設支援事業の実施のため 船舶建造に係る資金の借受 | 銚子沖合漁業生産組合 | 平成19年度～ |
| 2-1 | 「千葉のさかな」ブランド チャレンジ支援事業 (県単補助事業) | ヤリイカの鮮度保持及び沖漬け 加工品の取組を促進させるため、 試験を実施 | 銚子市漁業協同組合 | 平成19年度 |
| 5-1 | 「千葉のさかな」ブランド チャレンジ支援事業 (県単補助事業) | 「銚子の底魚」のブランド力強化 のため、県、市、市観光協会及び 市商工会議所との連携によるPR 活動の実施 | 銚子市漁業協同組合 銚子沖合漁業生産組合 | 平成19年度～ |

(5) 取組のスケジュール

① 工程表

| 年度 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 備考 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----------------|
| 1-1 | | | | | | | 協業化 |
| 1-2 | | | | | | | 漁船の小型化 |
| 2-1 | | | | | | | 高鮮度出荷（ヤリイカ） |
| 2-2 | | | | | | | 活魚出荷試験（ヒラメ） |
| 3-1 | | | | | | | 入札業務の迅速化 |
| 3-2 | | | | | | | 市場衛生管理の検討 |
| 4-1 | | | | | | | 地元販売の強化（漁協直売所） |
| 4-2 | | | | | | | 外食産業等への直販 |
| 5-1 | | | | | | | 「銚子の底魚」のPRの強化 |

② 改革の取組による波及効果

(底魚資源の持続的利用)

漁船を小型化し資源に見合った漁業規模に転換することで、銚子沖合の底魚資源の持続的な利用が可能となる。このことにより、将来にわたり、高鮮度・高品質な「銚子の底魚」を消費者に安定して提供することができる。

(沿岸漁業との共存共栄)

銚子沖合では、さまざまな漁船規模により多種多様な漁業が営まれており、漁場の競合が多発する海域である。沖合底びき網漁業が生産組織を協業化し、資源に見合った小型漁船への転換を進めることにより、沿岸漁業との調和のとれた漁場利用を図ることができる。

4 漁業経営の展望

銚子地域の沖合底びき網漁船 5 隻は、燃油代金が高騰する中で、経営努力により収支の均衡に努めている。しかしながら、各船とも船齢が高く、今後、修繕費等の増加により漁業経営の継続が難しくなっていくものと考えられる。

この対策として、以下の改革を進めていくものとする。

(1) 生産に関する事項

① 協業化

経営体質の強化を図るため、4 隻が協業化（漁業生産組合の設立）し、経費の節減に努める。具体的には、管理部門の統合による一般管理費の節減及び諸資材の一括購入、相互融通を実施することなどにより効率的な経営を図る。

② 漁船の小型化

生産組合所属の漁船を小型化することで船舶検査費用等を削減し、省エネ・省コスト型の漁業に転換する。全船の小型化については長期的な計画になると考えられるが、新船への更新を順次実施して最終的には小型漁船 4 隻での操業体制を確立する予定である。

今回の改革計画では、このうち 1 隻の更新を図る。

(2) 流通・販売に関する事項

① 漁獲物の高付加価値化

流通の改善については、ヤリイカの高鮮度出荷や加工、ヒラメの活魚出荷試験に取り組み、漁獲物の付加価値の向上を図る。

② 漁港における品質管理

市場の電子商取引の促進等による入札業務の迅速化及び衛生管理の徹底を図っていく。

③ 新たな流通経路の開発

漁協の直売所に「銚子の底魚」コーナーを常設して地元消費の拡大を図るとともに、居酒屋チェーン、宅配業者と連携した直販を試行する。

④ 「銚子の底魚」のPRの強化

まず、地元の消費を拡大し魚価の向上を図るため、県、市、市観光協会及び市商工会議所と連携して「銚子の底魚」のPRを積極的に展開する。

この改革計画により、銚子地域の沖合底びき網漁業を省エネ・省コスト型の漁業に転換するとともに、地域が一体となった漁獲物の流通・販売対策を通じて地域における消費需要の拡大や魚価の向上に取り組み、収益性の高い漁業経営に構造改革しようとするものである。

沖合底びき網漁業の安定した漁業経営を実現することにより、銚子沖合の底魚資源の有効活用と消費者への新鮮かつ多様な水産物の供給が持続的にできることとなる。

<沖合底曳網漁業>

(1) 収益性改善の目標

単位：円、kg

| | 現 状 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
|----------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 収 入 | | | | | | |
| 1 水 揚 量 | 232,994 | 170,000 | 170,000 | 170,000 | 170,000 | 170,000 |
| 2 水 揚 高 | 102,237,882 | 76,190,500 | 76,190,500 | 76,365,500 | 76,525,500 | 76,685,500 |
| 経 費 | 94,129,450 | 57,893,066 | 57,893,066 | 57,958,586 | 57,964,986 | 57,971,386 |
| 3 人 件 費 | 35,757,609 | 22,292,726 | 22,292,726 | 22,292,726 | 22,292,726 | 22,292,726 |
| 4 燃 油 代 | 25,487,580 | 20,952,000 | 20,952,000 | 20,952,000 | 20,952,000 | 20,952,000 |
| 5 修 繕 費 | 12,419,249 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 6 漁 具 費 | 2,838,500 | 1,952,000 | 1,952,000 | 1,952,000 | 1,952,000 | 1,952,000 |
| 7 そ の 他 | 3,094,961 | 2,309,000 | 2,309,000 | 2,309,000 | 2,309,000 | 2,309,000 |
| 8 保 険 料 | 3,180,442 | 2,500,000 | 2,500,000 | 2,500,000 | 2,500,000 | 2,500,000 |
| 9 公租公課 | 797,906 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| 10 販売経費 | 3,829,495 | 3,442,340 | 3,442,340 | 3,507,860 | 3,514,260 | 3,520,660 |
| 11 一般管理費 | 6,723,708 | 2,895,000 | 2,895,000 | 2,895,000 | 2,895,000 | 2,895,000 |
| 償却前利益 | 8,108,432 | 18,297,434 | 18,297,434 | 18,406,914 | 18,560,514 | 18,714,114 |

【参 考】

現 状

70トン型漁船の5か年実績（平成14～平成18年度漁期）の平均値
漁期：9月～6月

計 画
(算出基礎)

- | | |
|----------|--|
| 1 水揚量 | 水揚高÷過去5か年の平均単価で算出 |
| 2 水揚高 | 70トン型漁船の平均的な水揚高約1億円をもとに19トン型漁船による漁獲能力比(75%)を乗じて75,000千円を計上 流通・販売の取り組みによる水揚増加分を計上 |
| 3 人件費 | 日本人乗組員3名の賃金及び福利厚生費並びに外国人研修生2名の研修費をもとに算出 《人件費の内訳》 給料手当 13,783,500 福利厚生費 3,669,226 その他賃金 1,480,000 外国人研修費 3,360,000 合 計 22,292,726 |
| 4 燃油代 | 操業時及び航行時の燃油消費量をもとに算出 |
| 5 修繕費 | まき網漁船(19トン型の網船及び運搬船)の年間平均修繕費を参考に算出 |
| 6 漁具費 | 70トン型漁船の漁具費をもとに算出 |
| 7 その他 | 過去の実績から推定し、組合費、通信費、倉庫料、交通費等の費用を算出 |
| 8 保険料 | 漁船保険料 |
| 9 公租公課 | 一般管理費に含まれる諸税 |
| 10 販売経費 | 水揚手数料及び流通・販売の取り組みに必要な経費 |
| 11 一般管理費 | 役員報酬、給料手当等、組合運営に必要な経費 |

(2) 次世代船建造の見直し

| | | | | | | | |
|-------|----------|---|-------------|------|---|----|--|
| 償却前利益 | 18.7 百万円 | × | 次世代船建造までの年数 | 20 年 | > | 船価 | 161.5 百万円 × 1 隻 = 161.5 百万円 374 百万円 |
|-------|----------|---|-------------|------|---|----|--|

※ 「償却前利益」は、改革5年目の数値とした。

(参考) 改革計画の作成に係る地域プロジェクト活動状況

| 実施時期 | 協議会・部会 | 活動内容・成果 | 備考 |
|----------|----------------------------------|---|----|
| 19・7・11 | 地域協議会 (第1回) | (1) 漁船業構造改革総合対策事業について (2) 千葉県地域漁船漁業改革推進集中プロジェクトの設置について (3) 千葉県地域プロジェクト運営事業実施計画について 会長：勝山 満 会長代理：佐藤 隆義 | |
| 19・7・19 | 銚子地域 沖合底びき網漁業 部会 (第1回) | (1) 銚子地域沖合底びき網漁業部会の設置について (2) 今後の取り組みについて 会長：坂本 雅信 会長代理：網中 清勝 地域が一体となって漁業構造改革に取り組むこととなった。 | |
| 19・8・7 | 銚子地域 沖合底びき網漁業 部会 (第2回) | (1) 銚子地域沖合底びき網漁業の改革計画について 協議内容を取り入れて計画を作成していくこととなった。 | |
| 19・8・16 | 中小漁業経営支援 協議会 (支援業務 部門：第1回) | (1) 銚子沖合漁業生産組合の経営改善計画について 漁業経営アドバイザーから指導助言を得た。 | |
| 19・9・4 | 地域協議会 (第2回) | (1) 銚子地域沖合底びき網漁業の改革計画について 協議内容を取り入れて改革計画を作成していくこととなった。 | |
| 19・10・2 | 銚子地域 沖合底びき網漁業 部会 (第3回) | (1) 銚子地域沖合底びき網漁業の改革計画について 協議内容を取り入れて改革計画を作成していくこととなった。 | |
| 19・10・3 | 中小漁業経営支援 協議会 (支援業務 部門：第2回) | (1) 銚子沖合漁業生産組合の経営改善計画について 漁業経営アドバイザーから指導助言を得た。 | |
| 19・11・13 | 銚子地域 沖合底びき網漁業 部会 (第4回) | (1) 銚子地域沖合底びき網漁業の改革計画について 条件が整えば、2隻の計画で地域協議会に提出することとなった。 | |

| | | | |
|---------|-----------------------------|--|--|
| 20・1・9 | 銚子地域 沖合底びき網漁業 部会（第5回） | （1）銚子地域沖合底びき網漁業の改革計画 について 検討の結果、1隻の計画にして地域協議 会に提出することとなった。 | |
| 20・1・21 | 中央協議会委員 現地視察 | （1）市場調査（銚子漁港、水産ポートセンター） （2）改革計画の説明 新井委員、高井委員、田坂委員、土屋委員 から指導・提言をいただいた。 | |
| 20・1・22 | 地域協議会 （第3回） | （1）銚子地域沖合底びき網漁業の改革計画に ついて 改革計画がまとめ、中央協議会へ提出す ることとなった。 | |